



当院の鼠径ヘルニアに対する手術のご紹介

鼠径ヘルニアに対する手術療法には、鼠径部を3から4cm程度切開する**鼠径部切開法**と腹腔鏡を用いた**腹腔鏡手術**があります。それぞれに利点・欠点があり、どちらの手術を選択するかは施設により様々です。当院では、以前は鼠径部切開法を適応してきましたが、2014年より**腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術**を導入しました。腹腔鏡手術は、腹部に3か所の小さな穴（5mmの小さな穴を2か所、1cm程度の穴を1か所）を開けて実施する手術です。炭酸ガスをお腹の中に注入し、腹部を膨らませた状態にして、3つのうち1つの穴から腹腔鏡を挿入して、腹腔の中の様子をモニター画面で確認しながら行います。鼠径部を腹腔側から観察すると、ヘルニア門が明らかになり、反対側にも術前に診断できなかったヘルニアが確認できることもあります。ヘルニア門の周囲を剥離後に腹膜外にメッシュを貼付します。

鼠径ヘルニアに対する腹腔鏡手術は、大きく分けて2種類の方法があり、

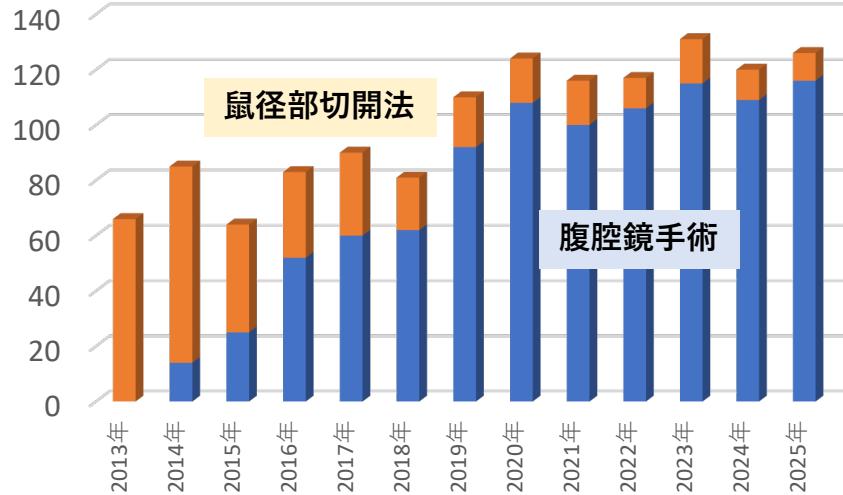
✓ **TAPP法（腹腔内到達法）**

✓ **TEP法（完全腹膜外修復法）**

に分かれていますが、当院ではTAPP法を採用しています。腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術の導入以降**2025年末までに950例**の方に適応してきました。ヘルニア再発はこれまでありませんが、今後とも安全性に注意しつつ手術を行ってきます。

これからも登録医の先生方を含む地域の諸先生方に、安心して患者さんを当院にお任せいただけるような外科を目指して、地域の皆様への貢献を一層深めていく所存です。

(例)



地域からよろこばれ、信頼される病院をめざします。

基本方針

- ・患者様の意思と権利を尊重し、充分な説明と納得と根拠に基づく医療を提供します。
- ・常に研鑽につとめ、安心、安全で質の高い医療を提供します。
- ・地域の中核病院として、他の医療機関との密接な連携をはかります。
- ・医療を通じて、社会貢献と職員の満足をはかるべく健全な財務体質を構築します。

南大阪病院ホームページのご案内

南大阪病院ホームページでは、病院からの大切なお知らせや各診療科の取り組み、専門外来まで当院のいまをお伝えしています。広報誌・年報のダウンロードも可能です。是非チェックしてください。



トップページ



外科・消化器外科



社会医療法人景岳会
南大阪病院

ホームページは
こちらから



受付時間

※日曜日・祝日は休診

平日 午前 8:30～12:00
午後 12:00～16:00

土曜日 午前 8:30～12:00

※曜日によって診療案内・時間が変わりますので、
詳しくは窓口および外来担当表でご確認ください。

住所

〒559-0012 大阪市住之江区東加賀屋 1-18-18

TEL

06-6685-0221

FAX 06-6685-5208

